

山田みやこの活動報告

令和元年7月29日(月)

農林環境委員会視察報告

〈京都府立林業大学校〉

平成24年4月開校、今年で8年目となる。まず第一に自然を尊敬できる人を育てることを目指している。

・ 3つの教育理念

- ①実践的な技術・知識を身に付けて第一線で活躍できる人材
- ②森林保全活動から野生鳥獣対策まで幅広い地域活動を支える公共人材
- ③森林組合など林業事業体の経営力の向上を支える人材

・ カリキュラム

[森林林業科]

林業専攻と森林公共人材専攻のコース 2年間

[研修科]

林業トレーニングコース 2ヶ月

経営高度化コース 3ヶ月

森林保全・野生鳥獣害対策コース 6日間程度

森と木の文化コース 年4回程度

林業専攻は京都府独自の認定として「高性能林業機械操作士」取得

森林公共人材専攻は京都府独自の認定として「森林公共政策士」「地域公共政策士」取得

・ 京都府林業の担い手交流・育成協議会

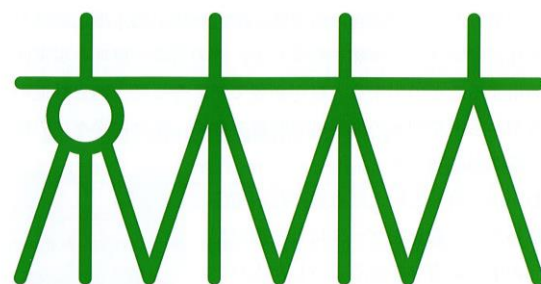
学生生活から就職までサポートするとともに担い手同士が交流し支え合いながら成長するために森林・林業界全体をサポート



令和元年度

京都府立林業大学校 学校概要

～次代の担い手と共に成長、発展する大学校～



Kyoto Prefectural College of Forestry

大学校の教育体系

専攻・コース	森林林業科		研修科			
	林業専攻	森林公共人材専攻	林業トレーニングコース	経営高度化コース	森林保全・野生鳥獣害対策コース	森と木の文化コース
目的	林業に関する知識、技術等を総合的に習得し、新規就業を目指す	短期集中プログラムにより知識、技術を獲得し、早期就業を目指す	経営に関する知識や技術を獲得し、経営力の高度化を目指す	実践研修により森林保全の担い手等を育成する	森や木に関わる講座により森林への理解を深める	
修学期間	2年	2ヶ月間	3ヶ月間	6日間程度	年4回程度	
募集人数	20名	20名	20名	20名	20～50名	
対象者	高等学校卒業以上の学力があると認められる就学希望者	就業希望者	森林組合等林業事業体職員等	NPO、森林ボランティア等	広く一般の方	
募集方法 募集時期	推薦入学試験及び一般入学試験で選考		開催前に募集			

若い林業の担い手を森林・林業界全体でサポート

京都府林業の担い手交流・育成協議会

森林・林業関係者から木材業関係者まで、森林・林業界が一体となって力を合わせ、担い手の育成から就職・就業までを一貫して支援するため、「京都府林業の担い手交流・育成協議会」が発足。交流会、研修会などを通して学生生活から就職までサポートするとともに、担い手同士が交流し、支え合いながら成長することを支援します。



地域をあげて林業大学校をサポート

林業大学校地域連携協議会

本校の開校を契機に、地域住民との連携、絆づくりを目指し、京丹波町が中心となって「林業大学校地域連携協議会」が発足し、地域ぐるみで学生生活をサポート。本校からも地域貢献活動、地域祭り等の行事参加を積極的に進めています。



・大学と企業の連携

京都府立大学と連携し必要な公共政策の専門講義を受ける。府立大学は公共政策実習の実習先を林業大学校から提供を受ける。林業先進国ドイツのチェーンソーメーカー（株）スチールと教育活動の協力を締結し、ドイツでの海外研修を2年生の春に実施する。内容は最新型のチェーンソーを実施した講義と実習。地元林業大学との交流等。

・インターンシップとキャップストーン研修 インターンシップ

1年生の3月に1週間の林業事業体での就業体験
キャップストーン研修

2年生9～10月に1か月間林業事業体で業務体験

・林業大学校地域連携協議会

京丹波町の地域住民との絆づくりを目指し、地域清掃活動や秋祭りでの神輿担ぎに参加。

・学生生活について

現在1年生15名・2年生12名で町営住宅に9人、民間アパート7人、民間空家に9人。朝食は必ず食えることということで道の駅にて1食380円で提供している。

・修学資金制度

入学料と授業料の無利子貸与制度。卒業後、京都府内で林業等に5年間従事すると返還免除される。

緑の青年就業準備として林業関連分野への就業を希望の若者への支援として年間最大150万円×2年間＝300万円を給付。卒業から1年以内に林業等に就業し、3年間従事した場合に返還免除される

・卒業生の進路

京都府内に6割。主に森林組合、民間森林事業体、公務員等。

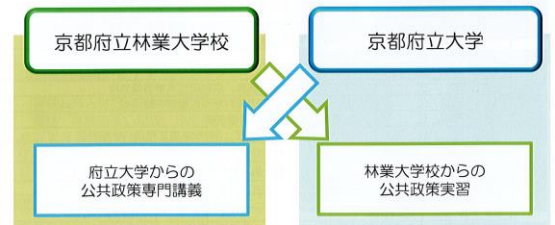
大学・企業との連携

京都府立大学との連携

本校では、京都府立大学との交流と協力を促進し、教育内容の充実、発展を図ることを目的として、包括協定を締結しています。

【協定の主な内容】

- 森林林業科の森林公共人材専攻で、「森林公共政策士」に必要な公共政策の専門講義を府立大学から提供を受けます。
- 府立大学は、公共政策実習の実習先を本校から提供を受けます。



株式会社スチールとの連携

林業先進国であるドイツに本社を置く、世界的なチェーンソーメーカーである株式会社スチールと、教育活動に関する協力協定を締結しました。

本校のカリキュラムにおいて、同社の最先端のノウハウを取り入れた講義・実習を提供するとともに、ドイツでの海外研修を2年生の春に実施します。

【協定の主な内容】

- 専門技術スタッフを3年間無償派遣
- 最新型のチェーンソーを使用した講義・実習
- 林業先進国ドイツへの海外研修・現地実習及び地元林業大学との交流支援



スチール専門技術スタッフによる
伐木実習

京都府立林業大学校独自の取り組み

全国初！独自の資格

〈高性能林業機械操作士〉

林業専攻で取得することが可能です。
最新鋭の高性能林業機械の操作研修と、林業事業体等での実践的な研修を経た後に、試験合格者には高性能林業機械操作士の資格を付与します。

ベースマシンの基本操作・構造の理解から、森林技術者として必要な基本的技術、現場に即した機械操作・状況判断能力まで、即戦力として活躍できる技術を身につけます。



〈森林公共政策士〉

森林公共人材専攻で取得が可能です。
森林・林業の高い知識、技術に併せて、京都府立大学で公共政策に係る専門的な知識を身につけ、NPO等での実践的な地域活動研修を経た後に森林公共政策士の資格を付与します。
森林公共政策士とは、森林にまつわる様々な地域の課題を解決できる即戦力の証として、京都府が独自に創設する全国初の資格です。



林業先進国ドイツでの海外研修

海外研修として、ドイツ国内の林業大学との交流を実施。

現地研修や学生同士の交流により、日本だけでなく海外の森林・林業に関する見聞を広め、新しい林業経営の姿を学びます。



オリジナルグッズの制作

株式会社モンベルと共同で、実習用オリジナルジャケットとバックパック、キャップを制作しました。機能性・デザイン性ともに優れたグッズで、様々な実習に活用しています。



・他県の林業大学校との協定

長野県林業大学校、岐阜県森林文化アカデミーと京都府林業大学校の三林業大学校が技術者養成教育の充実、向上を図るための協定締結。

※次代の林業担い手を養成するため、森林をベースにした循環型社会の実現に寄与できる人材育成を目指している。入学者は京都府外からも募集している。

林林 京都府立林業大学校



京都府船井郡京丹波町



京都府立林業大学校の全景
(奥) 本館 (手前2階部分) 講義室



JR 京都駅から JR 和知駅まで 90 分
JR 和知駅から徒歩で 3 分

お問い合わせ先
〒629-1121
京都府船井郡京丹波町本庄土屋1
京都府立林業大学校
電話 (0771) 84-2401

★ホームページのご案内★
<http://www.pref.kyoto.jp/kyorindai/>
京都府立林業大学校ホームページ
学校の紹介、入試情報（学生募集要項、入学願書書式）などお知らせしています。

☆京都府立林業大学校公式 Facebook のご案内☆
<https://www.facebook.com/kyotorindai>
学校行事をはじめ、日々の実習や授業の様子を発信しています。